

スマート化する“住まい”と“暮らし”のスペシャリスト **スマートマスター** 資格保有者 8,459名 全国1,185箇所 で活動中！

～2022年3月資格認定試験の結果、新たに276名がスマートマスターとして始動～

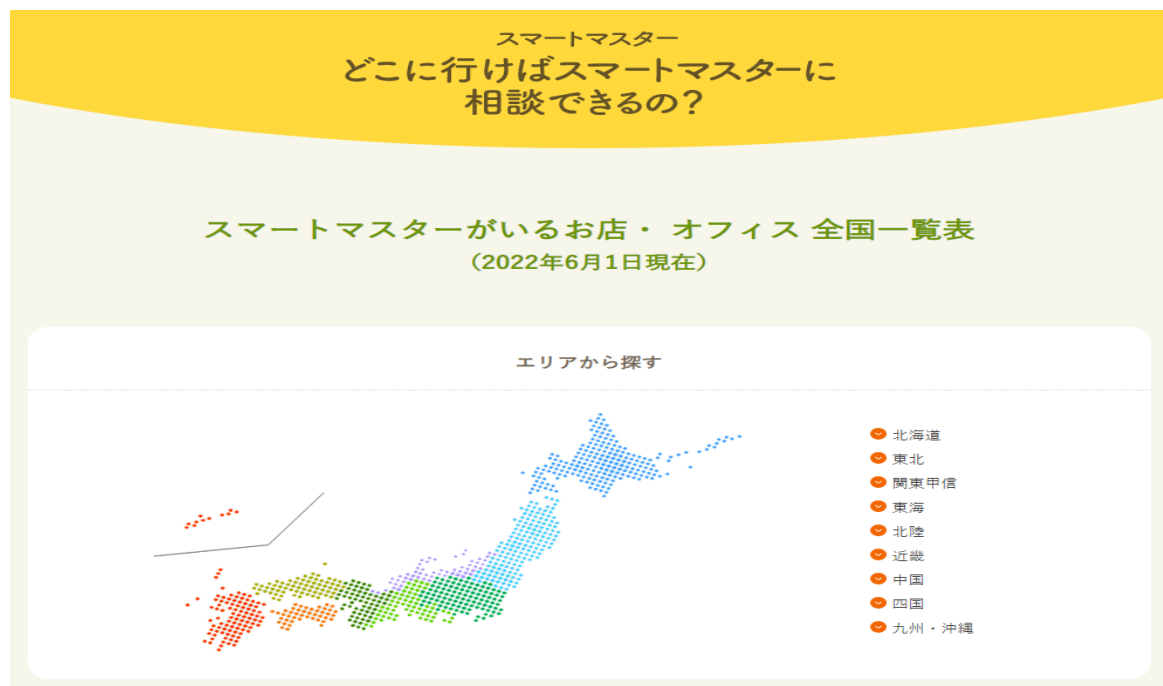
一般財団法人家電製品協会が2022年3月に実施した資格認定試験の結果、5月1日付にて、新たに276名の「スマートマスター」が誕生しました。これでスマートマスターの資格保有者数は累計で8,459名となり、全国47都道府県の1,185箇所の店舗・オフィスにて消費者の皆様“住まい”と“暮らし”のスマート化を支援する体制がさらに充実しました。

コロナ禍を契機に、様々な分野の変化に即応すべく著しい進化を遂げているIoT・AI、ロボット、ビッグデータ、さらに5G（第5世代移動通信システム）などの革新的な技術は、よりいっそうの広がりを見せ、社会全体におけるDX（Digital Transformation）化を加速しています。このような変化の時代を牽引する人材の育成は、アフターコロナを見据えた喫緊の課題であり、消費者に寄り添って「住まいと暮らしのバージョンアップ」のサポートができるスマートマスターが活躍する時機が、今まさに到来しています。（「スマートマスター」の詳細については次ページをご参照ください）

家電製品協会認定センターのホームページでは、「スマートマスターがいるお店・オフィス」を都道府県別に公開しています。スマートハウスに関するはもちろん、「先進のリフォーム」、IoTやAIなどの革新的技術と家電等による「暮らしのサポート」などに関するご相談も、ぜひ、お近くのスマートマスターをお訪ねください。

全国1,185箇所の「スマートマスターがいるお店・オフィス」は家電製品協会認定センターのホームページにて公開中

詳しくはこちら  <https://www.aeha.or.jp/nintei-center/consumer/smartmaster/consulting/>



【本件に関するお問い合わせ先】

一般財団法人家電製品協会 認定センター TEL:03-6741-5609

Mail:nintei-info@aeha.or.jp

ホームページ: <https://www.aeha.or.jp/nintei-center/>



スマートマスターが目指す「スマートハウス」とは？

スマートハウスが目指すものは大きく分けて、以下の①、②の2つです。この2つによって「暮らす人の幸せを追求する住まい」、それがスマートハウスです。

- ① 住まいの構造・断熱性能の確保、創エネ・蓄エネ・省エネによるエネルギーマネジメントの徹底などにより、実質的なエネルギーの消費量を抑制できる住まい「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」を目指します。
【Point】「ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」はエネルギー問題(化石燃料依存が高止まり)に対応すると同時に、COP26における「温室効果ガス削減目標」に向けた具体的な施策のひとつになっています。
- ② IoT、AI、ビッグデータ、ロボットなどの先進技術を活用し、これまで単独で活用されてきた機器やサービスが相互につながり連携しあうことで、新たな利便性・安全性・快適性を暮らしに届けます。
【Point】少子高齢化に伴う「独居老人の見守り」や「介護問題」、さらにはご家庭における「健康管理」や「防犯・防災」など、社会・暮らしの課題解決を目指します。

スマートマスターとは？

スマートマスターはスマートハウス普及を推進し、暮らしを「快適」にするためのサポートを行います。



『スマートマスター』は、「スマートハウス」を消費者に分かりやすく訴求し、その実現をサポートする職につく人材に最適な資格です。

受験時から資格取得後にわたって認定センターの知識習得のサポートを受けられ、資格の取得と保有を通して事業に必要な知識の習得と保持ができます。住宅、通信、家電製造・販売、健康など、家電と暮らしにかかわる様々な事業分野にわたって資格保有者がおられ、受験希望者は年々増えている、今注目の資格です。

資格の概要

消費者が安心して相談できる、スマートハウスの専門家

『スマートマスター』は、スマートハウスのスペシャリストとして、家の構造・性能に関する知識、家電製品から住宅設備、さらにはエネルギーマネジメントまで、それらに関する技術や商品の動向を理解し、様々な製品やサービスを組み合わせる横断的な知識をもって、消費者個々のニーズに合ったスマートハウスの構築を支援します。

人々の利便性・快適性・安全性などを向上させるスマートハウス

IoT・AI・ビッグデータ・ロボットなどの普及に伴い、消費者のライフスタイルは大きく変わっていくことが予想されます。今後普及が進んでいくことが期待されているスマートハウスは、これらの技術を駆使することにより、住宅メーカーはもとより、電力・ガスなどのエネルギー供給業者、電機メーカー、住宅設備事業者、通信事業者など様々な事業者が、それぞれの技術や製品、サービスを提供していき、家庭におけるエネルギー消費効率を高めると共に、その家に暮らす人々の利便性・快適性・安全性などを向上させていきます。

資格要件(概略)

進化するスマートハウスの設営に向けて、ゼロエネルギーハウスの構築や安全・安心・快適な”住まい”と”暮らし”を実現するために必要な知識を問うもので、期待するポイントは次のようになっています。

1. スマートハウスの将来性とメリットについて説明できる。
2. ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)構築のための構成要件とその推進手順を理解している。
3. スマートハウス化に向けたリフォームビジネスのポイントを理解し、実務のための基礎ができている。
4. HEMSやスマートメーターなど、住まいの省エネ化・ZEH化のための基幹システムの構成や機能について説明できる。
5. 太陽光発電や蓄電池ほか、主要なエネルギー関連商材について説明できる。
6. 暮らしの安全・安心・快適を実現するための家電製品など各種機器の基礎知識を有している。
7. IoTやAI、ロボットなどの新たな技術の基礎とそれがインフラとなって実現される暮らしのサービスなどについて理解している。
8. スマートハウス構築に必要な法規やルールを理解するとともに、お客様に対する説明スキルを身につけている。

<参考資料 2>

資格の背景

新しい事業分野に精通した人材の育成

本資格制度では、『スマートマスター』を養成し認定するために、育成カリキュラムや学習テキストの提供、認定試験の実施、さらには資格取得後の継続学習の支援などが準備されています。

家電製品協会は、本資格制度を導入・推進することを通して、時代をリードする人材(スマートマスター)を育成し、スマートハウスが生み出す環境メリットと家庭生活上のメリットを、社会として、そして消費者として十分に享受できるようにサポートしてまいります。

資格設立の背景

IoT・AI・ビッグデータ・ロボットなどの普及に伴い、消費者のライフスタイルは大きく変わっていくことが予想されます。今後普及が進んでいくことが期待されているスマートハウスは、これらの技術を駆使することにより、住宅メーカーはもとより、電力・ガスなどのエネルギー供給事業者、電機メーカー、住宅設備事業者、通信事業者など様々な事業者が、それぞれの技術や製品、サービスを提供していき、家庭におけるエネルギー消費効率を高めると共に、その家に暮らす人々の利便性・快適性・安全性などを向上させていきます。

このような状況の中で、消費者との接点としてスマートハウス関連の体系的な知識(業界横断的な共通知識)を持つ人材が必要となっています。

試験概要

試験は毎年9月・3月の年2回実施しています

1. 資格名称	スマートマスター
2. 受験資格	なし
3. 試験スケジュール	毎年9月・3月の年2回実施
4. 試験科目	試験科目は「スマートハウスの基礎」「スマートハウスを支える機器・技術の基礎」の2科目
5. 合格基準	スマートハウスの基礎とスマートハウスを支える機器・技術の基礎の2科目ともに「得点率 概ね 70%以上(※)」
6. 資格の有効期限	資格交付日より5年間(資格更新制度あり)
7. 受験料	2科目 9,400円(税込)、1科目 6,200円(税込)

※ 合格基準は、試験結果を踏まえ試験第三者委員会にて都度確定します。

学習カリキュラム

家電製品協会が出版協力している、学習用テキストを販売しています。

『スマートマスター スマート化する住まいと暮らしのスペシャリスト』を(株)NHK出版より発行しています。本テキストは、家電製品協会の編集委員のほか、家・リフォームなど各分野の専門家が執筆し、大学教授、関連団体などが監修いたしました。

学習テキスト



書名 『スマートマスター スマート化する住まいと暮らしのスペシャリスト』

出版社 (株)NHK出版

定価 4,180円(税込)

体裁 B5版並製／488ページ(オール2色)

販路 全国書店など

発売日 2022年5月25日

問題&解説集



書名 『スマートマスター資格 問題&解説集』

出版社 (株)NHK出版

定価 1,870円(税込)

体裁 B5版並製／180ページ(オール1色)

販路 全国書店など

発売日 2022年5月25日